

授業科目名	地域コミュニティ論	担当教員	古賀 弥生
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	2 年 第 1 クォーター		
講義内容	人口減少をはじめとする社会の現状や人と人、人と社会とのつながりの希薄化などを背景として、地域コミュニティには多くの課題が存在する。その課題の解決には「公」「共」「私」それぞれの領域における取り組みとその連携が必要である。この授業では、地域コミュニティの課題と「公」「共」「私」の領域に関する概念や実際の活動の枠組み、手法を理解し、自らが地域に参画する姿勢を身につけることを目標とする。		
到達目標	・地域コミュニティに関わるキーワードを正しく理解し説明できる ・履修者各自が理想とする地域コミュニティ像を語ることができる ・その理想像に近づくための行動を起こす意欲を持つ		
授業計画	1. イントロダクション/地域コミュニティとは？ 基本的な概念と言葉の定義を整理する 2. 「地元」の地域コミュニティを考える① 履修者各自の経験と文献資料等からコミュニティの課題を抽出する 3. 人口減少の現状と課題 「人口」の概念整理と人口減少によって引き起こされる地域課題、それに立ち向かうコミュニティの取り組みについて知る 4. 空き家問題 高齢化の進展により都心部も含めて問題化している空き家について、解決に向けた地域コミュニティでの取り組みを学ぶ 5. 市民活動と地域コミュニティ 地域課題の解決に取り組む主体の一つとして、市民が活動する枠組みと取り組み例を学ぶ 6. 地域ケア・社会的処方 孤独・孤立を防ぐ地域コミュニティのあり方を知る 7. 防災・災害復興 地域コミュニティに期待される防災への取組みや災害復興における役割を考える。 8. 企業活動と地域コミュニティ 地域コミュニティの担い手としての企業の取組み、その背景にある考え方やソーシャルビジネスの事例を学ぶ 9. 行政の地域コミュニティ施策 自治体行政における地域コミュニティ施策の展開を学ぶ		

	<p>10. 公・共・私の領域を横断するコミュニティー 地域コミュニティーの課題にアプローチする活動を公・共・私の垣根を越えて展開する事例やその背景を学ぶ</p> <p>11. 「地元」の地域コミュニティーを考える② ここまでの学修内容を踏まえて、あらためて「地元」の地域コミュニティーの課題とその対応策を検討する</p> <p>12. 総括/理想の地域コミュニティー形成に向けて 履修者の「地元」を理想の地域コミュニティーへと変貌させるために自ら行動できることを考える</p>
事前・事後 学習	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業テーマに関連したキーワードを提示するので事前に文献等で学習すること。 ・次の講義の前に、参考資料を用いて前回の授業内容を復習すること。
テキスト	なし。各回の授業において資料を配付する
参考文献	授業内で適宜紹介する
成績評価 の 基 準	授業内で実施する小レポート（40%）、課題レポート（60%）により評価する
履修上の注意 履修要件	
実践的教育	該当しない。
備考欄	<ul style="list-style-type: none"> ・定員 50 名を超えた場合は抽選を行います。 ・別の曜日に同じ授業を開講していますので、そちらでも履修できます。 ・この授業は「地域創生論」「地域創生実習」と関連します。合わせて履修することを推奨します。